



あけましておめでとうございます

こども園に元気な声が戻ってきました。お正月には寒波が南下し、雪に見舞われたところが多かったと思います。穏やかなお正月を迎えられたでしょうか。

12月の第1週は、保護者の方による保育体験があり、今回は、延べ12名の方が体験されました。後ほど詳しくお伝えします。

クリスマス会では、会に向けて飾りの準備をしたり、各クラスでの出し物に笑顔で取り組んでいたりと、とても楽しそうな園児の姿がありました。クリスマス会当日にはサンタさんからのプレゼントももらい、みんなとてもうれしそうでした。

さて、1月の大きな目当ては、「元気に」です。寒さはこれからが本番を迎えます。天候の良いときは外気浴をし、寒い冬を元気に乗り切ろうと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

保護者保育体験

12月第1週は、保護者の方に保育を体験していただく週間でした。

前述したとおり、延べ12名の方に体験していただき、保育の楽しさを感じていただきました。

ここで、体験していただいた方の感想をいくつか紹介します(ほぼ原文のままですが、一部修正しています)。

- ☆ 先生方の忙しさたるや……連携プレーの多さ、子どもを飽きさせない工夫、暑い日も寒い日も外遊び…etc…ほんの半日（しかも、子どもたちと遊んだだけ）しかいなかったですが、上の子のクラスのときとは比べものにならないくらい体力を使った気がします。これを毎日こなしていただいている先生には本当、感謝のお気持ちでいっぱいです。
- ☆ 普段わが子がどんな雰囲気の中で過ごしているのかを見ることができ、嬉しかったです。改めて、毎日楽しく園生活を送れているのだと実感しました。子どもたちは皆かわいく、私自身も楽しく遊ばせてもらいました。
- ☆ 今回も子どもたちにいやされながら楽しく体験できました。あらためて先生方のすごさを間近で実感できました！！
- ☆ 同じあんずぐみのお友だちとも関わる事が出来、普段家では見ない我が子の姿も見る事も出来、保育士さんの体験もする事が出来て、とても貴重な体験になりました。
- ☆ 普段、我が子がどんな雰囲気の中で過ごしているのかを見ることができ、とても安心しました。改めて、毎日楽しそうに園生活を送れているのだと実感しました。当日は子どもたちがみんな可愛く、私自身も一緒に遊びながら楽しませてもらいました。
- ☆ 思っていた以上に、我が子が家よりもワガママを言うことも少なく、集団の中で自然と馴染んでいる様子が見られて驚きました。家庭と園とで上手に使い分けができているなら、成長の証だなあと感じています。また機会があればぜひ参加したいと思います。

以上のように、園としては大変ありがたい感想をいただいています。

保育体験することによって我が子だけでなく、他のお子さんがどのようなことに興味を示し、どのような関わりをしていて、そこへ保育教諭がどのような配慮をしているのか、感じていただけたようで嬉しいです。きっとその中で我が子への関わりの新しいアプローチの仕方が芽生えたのではないかと思います。今回体験できなかった方については、ぜひ次回参加していただければと思います。

2学期の保護者アンケート（園評価）結果

2学期の園運営を評価するにあたり、保護者の皆さまにアンケートを実施しました。保護者の皆様にはお忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。

1～12の項目につきましては、1学期アンケートと同じ項目でした。どの項目でも66%以上の肯定的な回答をいただいているのですが、特に項目4では肯定的な回答が100%のでした。保護者の方々、そして地域とともに地域の大切な宝を育てていることをとても実感できています。これからも皆様のご支援を賜りながらともに歩んでいければと思います。

さて、自由記述欄においてたくさんの感謝のお言葉をいただいておりますので、ここに一部紹介いたします。

- 先生方のおかげで子どもが楽しく保育園に通っています。様々なお便りに加えて、SNSでの発信が増え子どもの保育園での様子を知ることができ嬉しく思います。
- いつも子どもたちを安全に保育していただきありがとうございます。先生方からたくさんの愛をもらって育っているからか、お休みの日でも、「園に行く！先生と遊ぶ！」と登園を楽しみにしている息子です。寒天で遊んだり、色水で遊んだり、家ではさせてあげられないような貴重な体験ができて感謝の気持ちでいっぱいです！
- 先生方に心配事などを相談すると、いつも丁寧に答えてくださって、本当に感謝しています。忙しい中連絡ノートにびっしり書いてくださり、その日の様子が見てとれて、とても安心できます。もし可能であれば、トイレや食具の使い方などの進捗具合を教えて欲しいです。
- 子どもと一緒に献立表を見るのですが、先生がレシピ等丁寧に載せてくれてるおかげで毎回楽しみな様子です。園でのお気に入りメニューが家でも食べれる事を知ると喜び、私も献立作りに役立っています。

他、2件ご意見をいただきましたので、ここに回答いたします。

Q. 運動会の日程とプログラムについて

A. 運動会については、園児の兄弟が通学している小学校の運動会と重ならない日程の調整をしています。また、つばさ学園の運動会とも重ならないよう日程調整をしています。ご希望に添えないことがあるかもしれませんが、気候にも配慮しながら日程調整をしていきたいと思っています。

また、プログラム順につきましては、今回の意見を受けまして、来年度のプログラム順選考の参考とさせていただきます。

Q. 3歳以上児クラスの連絡ノートについて

A. 3歳以上児につきましては、日頃のお子さんの様子は園児との会話の中から伝わるようにしているところですが、口頭や連絡帳において補完できるように対応してまいりたいと思います。

Q. 毎月配布する通信他について

A. はいチーズ！で配信しているおたより(通信)などについては、紙媒体でもお渡しできますので、ご希望の方は担任に「紙媒体でほしい」という旨をお伝えください。

以上、本当に温かいお言葉やご意見をいただき、今後の励みになります。丁寧なご回答をありがとうございました。

なお、今回のアンケートは62世帯へ配布し提出が50世帯(回収率 80.6%)でした。ページの右側にパーセンテージで表記しています。※ 大きな数字の下は、1学期アンケートのパーセンテージです。

2 学期保護者アンケート（園評価）集計結果

1：とてもそう思う 2：そう思う 3：あまり思わない 4：全く思わない 5：わからない

項目	評価内容	評価(%)				
		1	2	3	4	5
1	お子さんは、園に行くことを楽しみにしている	34	60	2	0	4
		18.9	70.3	8.1	2.7	0.0
2	お子さんは、園生活や遊び、行事等に興味・関心をもって取り組み、生き生きとしている	54	42	0	0	4
		56.8	43.2	0	0	0.0
3	お子さんは、家族や地域の人、職員などに、よくあいさつをしている	18	50	28	2	2
		24.3	48.6	13.5	5.4	8.1
4	お子さんは、家庭・地域・園相互の支え合いにより健やかに育っている	56	44	0	0	0
		48.6	51.4	0	0	0
5	園では、体験活動を重視して一人一人が育ち合う教育・保育が展開されている	38	56	2	0	4
		37.8	48.6	5.4	2.7	5.4
6	園舎内外が整備されており、教育・保育環境の工夫に努めている	40	52	8	0	0
		37.8	54.1	8.1	0	0
7	園の施設は、園児の安全に配慮したものになっている	38	54	6	0	2
		32.4	62.2	5.4	0	0
8	園は、保護者が子どもの様々な様子を写真やおたより、行事に参加する機会の確保等で子どもの成長や発達等に気付く機会をつくっている	46	52	2	0	0
		45.9	45.9	8.1	0	0
9	園は、教育・保育方針や園児の様子を園だよりや保育参観、SNS等で、積極的に情報提供している	46	48	2	0	4
		35.1	51.4	8.1	5.4	0
10	園は、子育てに関する悩みや相談に丁寧に対応してくれる	38	54	6	0	2
		45.9	37.8	8.1	2.7	5.4
11	園は、地域との連携を行い、理解や協力が得られるようにしている	28	50	10	0	12
		21.6	37.8	10.8	2.7	27
12	地域の子育て家庭に対して、子育てに関するサロンや育児相談に応じるなど、子育て支援をしている	22	48	6	0	24
		13.5	29.7	10.8	0	45.9
13	保育参観の時期は、適切である	24	60	8	2	6
14	保育参観のプログラムの内容は、適切である	22	64	2	0	12
15	保護者保育体験の時期は、適切である	22	44	2	0	32

＜今後の予定＞

1月 5～9日 身体計測週間(すもも、かりん、れもんぐみ)
 1月 9日(金) かるた大会
 1月13～16日 身体計測週間(いちご、あんず、きういぐみ)
 1月21日(水) *腎臓(尿)検査キット配布(すもも、かりん、れもんぐみ)
 1月24日(土) 生活発表会(すもも、かりん、れもんぐみ)、お弁当日🍱
 1月26日(月) 誕生会
 1月27日(火) 健康診断
 1月28日(水) 腎臓検査キット回収

- 2月14日(土) 生活発表会(いちご、あんず、きういぐみ)、お弁当日
- 3月21日(土) 卒園式

《*腎臓健診(尿検査)について》

すももぐみ、かりんぐみ、れもんぐみの園児を対象に、腎臓健診(尿検査)をします。1月21日(水)に検査キットを配布し、28日(水)に持ってきていただきます。どうしても採取できないときは、翌週2月4日(水)に持ってきていただくようになります。詳しくは、キット配布のときにお知らせします。よろしくお願いいたします。

前回までに都合で紹介しきれなかった「⑨ポジティブな言葉かけをする」の項目以下の内容について、今回も順次紹介していきたいと思います。最初は、⑨番目になる「ポジティブな言葉かけをする」からはじめて行きたいと思います。

⑨ポジティブな言葉かけ

ここでの「ポジティブな言葉かけ」というのは、言い換えると「肯定的な言葉かけ」ということです。つまり、子どもを否定しないで受け止めるような言葉かけをするということです。

ポジティブな言葉は、魔法のような言葉と言われほどに子どもの受け止めを変えてしまいます。ポジティブな言葉かけをされると子どもの心は温くなり、お互いの人間関係も深まります。

(1)子どもの自信の育成

具体的なポジティブな言葉かけとして「すごいね!」「よく頑張ったね!」といった言葉がありますが、そうすると言われた子どもは、自分に自信もつようになります。特に子どもにとって、親や先生など周りの大人からのポジティブな言葉かけは、自分が自分自身を信じる力を強くする大切なエネルギーになります。

(2)子どもとの良好な人間関係の構築

また、子どもとの日々の肯定的な言葉かけを通したコミュニケーションは、人間同士の良好な関わり方を学びます。ポジティブな言葉かけとしての褒め言葉や感謝の言葉は、子どもと周りの大人との心の距離をぐっと縮めます。「ありがとう」「助かったよ」というような肯定的な言葉をかけると子どもは「自分の存在が周りの大人に認められている」と感じ、より良い人間関係を築くことができます。そして、ここで育った相手の気持ちを理解する力は共感力を育成し、安心して頼れる存在としての信頼関係の構築することにも繋がり、家族や友人との温かい人間関係を築く土台となります。

(3)精神的な安定

さらに、子どもへの肯定的な声かけで、子どもが安心感を得て、心の安定が育まれます。同時に困難を乗り越えるストレスへの耐性や気持ちを落ち着かせる感情のコントロールもできるようになります。このような「大丈夫だよ」「いつでも味方だよ」という肯定的な言葉は、子どもの心の大きな拠り所になります。

(4)子どものやる気のアップ

一方、「すごいよ」「上手くなったね」「早くなったね」というようなポジティブな言葉は、子どものやる気を引き出し、エネルギーを燃え立たせる効果もあります。

◎ネガティブな言葉かけ

逆に「ネガティブな言葉かけ」は、子どもの心に深い影を落とすことがあります。

「どうせできない」「あなたには無理」「あなたはダメ」というように否定的な声かけをされると、子どもは「自分は価値がない人間」という気持ちになり、自分に自信がもてなくなり、自分を信じることができなく、新しいことへの挑戦意欲を喪失して自尊感情を低め、子どもの可能性を摘んでしまいます。

このように子どもを否定するようなネガティブな言葉かけは、常に子どもを緊張状態に陥れストレスを高めるとともに、感情を抑制して自分の気持ちを表現しなくなってしまいます。そして、子どもの心を不安にさせ、心のバランスを崩してしまうのです。

そのような中で、子どもは、「自分は愛されていない」と感じ、人間関係に悪い影響が出てきてしまいます。また、ネガティブな言葉かけは、言葉への抵抗から反抗的な態度を取り、子どもの行動にもさまざまな問題がみられるようになります。

ポジティブな言葉かけができるようになるための具体的な取組

これまで説明してきましたポジティブな言葉かけのための4つの方法を紹介します。

(1) 観察の視点を考える「リフレーミング」

ポジティブな言葉かけをするためには、まず「捉え方」を変える必要があります。短所を長所に言い換えるということです。例えば、「飽きっぽい」ということは、→「好奇心が旺盛で、頭の切り替えが早い」というように言い換えられます。

「頑固」というのは、→「自分の思いをはっきり持っている、意志が強い」と言い換えられます。そして、「臆病」というのは、→「慎重」「リスク管理ができる」「思慮深い」と言い換えられるのです。また、「当たり前のこと」や「ごく普通」のことを「ありがたい」というように深く受け止めるのです。日常のちょっとしたことでも「靴が揃っている」ということに気づいて褒めてあげるのです。「時間通りに来た」時にも、きちんと時間に遅れないで来ることができたというように評価してあげるのです。「挨拶を返してくれた」時にも、立派に習慣ができているというように特別に受け止め挨拶ができたことを喜び褒めてあげるのです。これらのことを「できて当然」と思わず、「きちんとやれるようになって嬉しい」と捉えられるようにするのです。

(2) 言葉のバリエーションを増やす

「すごいね」「いいね」以外にも、相手の心に響く言葉のレパートリーを持っていくと子どもとのかわりが深くなります。

- ・存在の承認・・・「あなたがいてくれて助かるよ」「いつも見てるよ」
- ・過程の賞賛・・・「頑張ってきたのを知ってるよ」「その工夫がいいね」
- ・感謝の伝達・・・「～してくれてありがとう」「助かったよ」
- ・感情の共有・・・「私も嬉しいよ」「ワクワクするね」

などです。

(3) 心理学的に効果の高い「伝え方」のテクニック

同じ内容でも、伝え方ひとつで相手の受け取り方は大きく変わります。

・「私メッセージ（I（アイ）メッセージ）」で伝える・・・「（あなたは）すごいね」という評価ではなく、「（私は）あなたが～してくれて嬉しい」と自分の感情を伝えます。そうすると相手にプレッシャーを与えず、素直に喜びが伝わります。

・「具体化」して分かり易く褒める・・・「全部よかった」というよりも「手を繋いでくれでとても嬉しかった」と、ピンポイントで具体的に伝えると、お世辞ではなく本音として伝わります。

・第三者経由で伝える（ウィンザー効果）・・・直接言うのが照れくさい場合、「〇〇さんが、あなたのことを褒めてたよ」と伝えると、直接言われるよりも信憑性が増し、喜びが倍増します。

(4) 自分自身へのポジティブ・セルフトーク

他人への言葉かけを増やす近道は、自分自身に優しい言葉をかけることです。

・「できたこと」に目を向ける・・・一日の終わりに、どんなに小さくても良いので「今日できたこと」を3つ書き出してみます（スリーグッドシングス）。

・失敗を「学び」と言い換える・・・「最悪だ」ではなく「いい経験になった」「次はこうしよう」

と自分に声をかけるのです。

今回もまた、紙面の都合で紹介しようと思っていた項目を全て紹介することはできませんでしたので、次回に、⑩よく褒めて励ます ⑪一人一人の違いに応じた対応をする ⑫子どものしていることに驚きを持つ ⑬あるがままを受け入れる ⑭明るくてほほ笑みの多い保育者 ⑮ユーモアに富んだ保育者 ⑯子どもの名前を呼んであげる ⑰人として美しくなどについて紹介していきたいと思います。